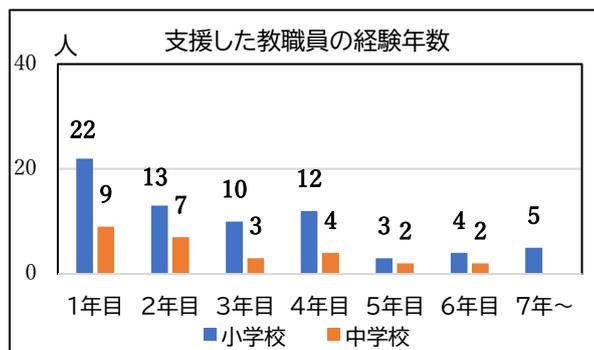


令和3年度

教職員支援アドバイザー 活動実績

乙訓教育局教職員支援アドバイザーは、教職員の大量退職・大量採用に伴い、多様化する学校現場の課題に対応しうる若手教職員等の計画的な育成を推進することを目的に令和2年度より配置されました。

1 学校訪問による支援



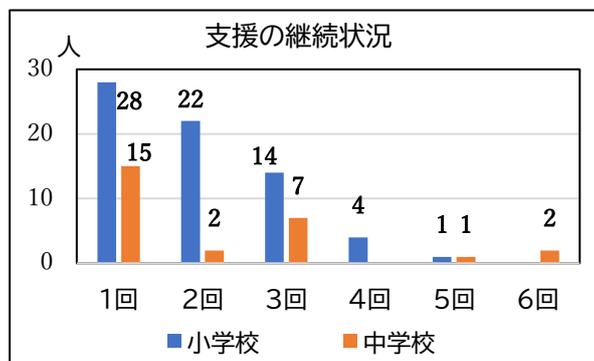
- 令和3年度アドバイザーは、要請のあった管内22校(小学校17校、中学校5校)に対して、延べ101回(小学校79回、中学校22回)訪問を行い、98人(小学校69人、中学校29人)の先生方を支援しました。

- 支援対象の先生1人に対して授業を1コマ参観し、その後20～30分程度の面談を実施しました。

- 参観した授業は223コマ(小学校158コマ、中学校65コマ)で、小学校では算数の授業を最も多く参観しました。次いで多かったのが国語の授業で、道徳や特別支援学級の授業もたくさん参観しました。

- 中学校で最も多かったのは社会の授業で、次いで多かったのは国語、数学の授業でした。

- 2回以上参観・面談を行った先生は57人で、およそ6割の先生に対し継続した支援を行っています。



2 その他の支援、活動等の状況について

- 支援対象の先生方の傾向やニーズを把握する目的で、支援した先生方にご協力いただき、アンケート調査を実施しています。
- 例年講師の先生を対象に年2回程度研修を実施していますが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって集合研修を避け、動画配信の形で実施しました。「授業づくりスタートアップ講座」として7月に4本、「困った！どースル？教育課題への対応」として2月に4本をそれぞれ10～15分の動画を配信しました。なお、講師の先生以外の先生方の学びにも繋げていただければと、各校に動画のURLを提供しています。

【令和3年度 講師ステップアップ講座Ⅰ】「授業づくりスタートアップ講座」

その1 授業づくりの流れ、その2 「ねらい(=目標)」の設定、

その3 「ねらい(=目標)」の達成のイメージ、その4 「ねらい(=目標)」を達成するための学習活動

【令和3年度 講師ステップアップ講座Ⅱ】「困った！どースル？教育課題への対応」

その1 学びに向かう学級づくり、その2 保護者との良好な関係を目指して、

その3 子どもの問題と向き合う、その4 素材研究のススメ

- アドバイザーの授業参観等を踏まえ、授業づくりに係る課題や視点をまとめたチラシ「授業づくり めもらんだむ」を3部発行し、各校に配付しています。(Vol.1 授業づくりの流れ、Vol.2 ねらいとめあて、Vol.3 ワークシートのメリット・デメリット)